

# 諏訪中 だより

多摩市立諏訪中学校

〒206-0024

多摩市諏訪5-12-1

ユネスコスクール認定校



令和6年 1月20日 第9号

## 今年もよろしくお祈いします

校長 相楽 敏栄

令和6年になり、はや、3週間が経とうとしています。年末、年始は充実したひと時をお過ごしになられたでしょうか。今年も、どうぞよろしくお祈いいたします。

9日（火）の3学期の始業式で、寒さを感じながら体育館で一堂に会しました。始業式では、冒頭に能登半島地震の被災者に思いを馳せる事、亡くなった方へご冥福を祈る事、親族に被災者がいて、心にやりきれなさや言葉では表せないもやもや感があれば、一人で抱えずに、必ず周囲の人に伝えてほしい事を伝えました。そして、ネガティブ・ケイパビリティ（Negative Capability）について生徒に話をしました。



雲に覆われた富士山

年の初めに新聞の朝刊を読んでいたら、ネガティブ・ケイパビリティ（負の能力）という内容が書かれた記事に出会いました。妙にその記事に惹かれ、読み進めていくと学校教育で育成する課題解決力やクイズ番組で答えを記憶から素早く出すポジティブ・ケイパビリティ（正の能力）を対比するような内容でした。その記事を読んで、ふと、生徒へ伝えたいという感情が湧いてきました。保護者・地域の皆さんは経験されていることですが、新たな企画をする仕事をしていると何をするのが正解なのかわからない中、ポジティブ・ケイパビリティを発揮し仕事をします。全てのことがこれで解決するわけではなく、先が見えない中、不安に耐えながら熟考し、結果が出るまで挑み続けるネガティブ・ケイパビリティを発揮しながら仕事をやり遂げます。そのような内容に共感し、生徒が社会人になってから知るよりも、今、知った方が良いと思い伝えることにしました。保護者の皆さんはどの様に受け止めたのか、お子さんに聞いていただければ幸いです。

将来役立つ、ネガティブ・ケイパビリティは、教育活動の中では、特別活動に分類できる分野で育成されています。特に、人と人との関わりで、自分の言動がどのようなものかは相手の反応から推測できます。自分が相手にとって不快な言動をすれば、自分にとって不快な反応が相手から返ってきます。その反応に対して、相手が悪いと思えばそこで終わり、自分の言動の改善にはなりません。それを改善するためには自分との葛藤があり、相手とうまくやっていくにはどうすればよいのか、自分の悪い点を自分で指摘し、改善しなければなりません。今までの自分を否定する事にもなり、思春期の生徒にとってもとても辛い事です。この事以外にも、良くない現状を改善し、自分の成長へつなげる事も同様です。

不安に耐えながら、暗中模索をし、結果が出るまで挑み続けられる、このような力も今の世界情勢を見ると必要なのかもしれません。生徒がネガティブ・ケイパビリティを少しでも身に付けられるように教育活動の充実を考えたいと思います。保護者・地域の皆様も、是非、ご協力ください。